

国立国語研究所学術情報リポジトリ

The Educational Film Series for the Japanese Language : Basic Level : Practice Exercises Unit 6

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-02-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 国立国語研究所, The National Language Research Institute メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00003122

16mmフィルム
ビデオテープ

日本語教育映画 基礎編

れんしゅうちょう

ユニット6 (第26巻～第30巻)

国立国語研究所

前 書 き

この「日本語教育映画 基礎編 練習帳」は、「日本語教育映画 基礎編」を使用する学習者のための補助教材として作成しました。

「日本語教育映画 基礎編」は、日本語を母語としない学習者が日本語を学ぶための初級用映像教材で、1巻5分から8分の作品30巻で構成されています。各巻、独立した学習内容と主題を持っているので、日本語の授業で教科書と併用する副教材として個別に利用することもできますが、また基礎的な日本語能力を実践的に身につけるための教材として、系列的に順次利用することも可能です。

この練習帳は、映画各巻の学習内容とストーリーに即して練習を展開させ、ユニット（映画5巻分）単位でまとめました。日本語教育映画とあわせて御利用ください。

『日本語教育映画 基礎編』 練習帳

ユニット(6)目次

第26巻	このきっぷを あげます……………	1
第27巻	にもつを もって もらいました……………	9
第28巻	てつだいを させました……………	17
第29巻	よく いらっしゃいました……………	23
第30巻	せんせいを おたずねします……………	31
	動詞の れんしゅう……………	38

このきっぷをあげます

けんか

ヒラきょうタワー

このかぶきのきっぷ、よかったらあげるよ。

じゃ、[]ます。

どうもありがとうございます。

かちょう、このきっぷよろしかったらさしあげますが。

じゃあ、[]ます。

このきっぷ []さんにもらったんだけど、いけなくなってしまったんです。

かちょうさんに []らどう？

そうですか、じゃあ、かちょうに []ことにします。

このきっぷよ。やまだかちょうがくれたんだが？

やまだかちょうがくれた？

このきっぷよ。それでは、いただきます。ありがとうございます。

このきっぷよ。

かぶき

いのうえさん

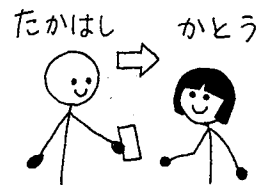
やまだ かちょう

[]さん

[]さん

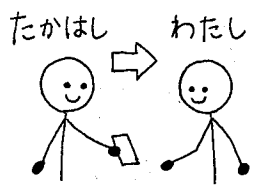
① 「あげる」「もらう」

高橋さんは 加藤さんに きっぷを あげました。
→ 加藤さんは 高橋さん (に) きっぷを
※ どちらも 正しいです。 (から) もらいました。



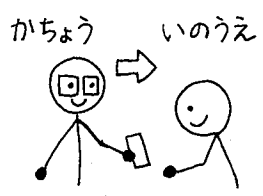
② 「もらう」「くれる」

わたしは 高橋さん (に) きっぷを
(から) もらいました。
→ 高橋さんは わたしに きっぷを くれました。



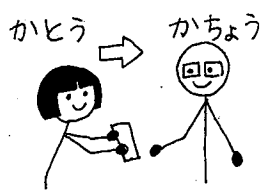
③ 「あげる」「いただく」

課長は 井上さんに きっぷを あげました。
→ 井上さんは 課長 (に) きっぷを
(から) いただきました。



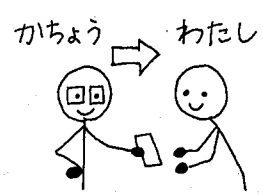
④ 「さしあげる」

加藤さんは 課長に きっぷを さしあげました。
→ 課長は 加藤さん (に) きっぷを
(から) もらいました。



⑤ 「いただく」「くださる」

わたしは 課長さん (に) きっぷを
(から) いただきました。
→ 課長さんは わたしに きっぷを くださいました。



⑥ 「やる」

課長は 井上さんに きっぷを あげました。
→ 課長は 井上さんに きっぷを やりました。
加藤さんは 花に 水を やりました。



⑦ 「やり・もらい」(1)

れい：高橋さんは 加藤さん(に) きつぷを あげました。

1. 井上さんは わたし○ きつぷを くれました。
2. わたしは 山田さん○ たばこを もらいました。
3. 課長は わたし○ おみやげを くださいました。
4. 井上さんは 課長○ おいおいを さしあげました。
5. わたしは 社長○○ おみやげを いただきました。
6. 加藤さんは 花○ 水を やりました。

⑧ 「やり・もらい」(2)

れい：高橋さんは 加藤さんに きつぷを あげました。

→ 加藤さんは 高橋さんに きつぷを もらいました。

1. わたしは 高橋さんから 本を もらいました。
→ 高橋さんは
2. 上田さんは 小林先生に 外国のたばこを さしあげました。
→ 小林先生は
3. 加藤さんは 田中さんに 本を もらいました。
→ 田中さんは
4. 山田さんのお父さんは 弟に きつぷを くださいました。
→ 弟は
5. 社長は 課長に おみやげを あげました。
→ 課長は
6. あなたは 井上さんから おいおいを もらいましたか。
→ 井上さんは

⑨ 「やり・もらい」(3)

れい : 高橋^{たかはし}さんは 加藤^{かとう}さんに きつぷを あげました。

→ 加藤^{かとう}さんは 高橋^{たかはし}さんから きつぷを もらいました。

1. わたしは 井上^{いのうえ}さんに おみやげを もらいました。

→ 井上^{いのうえ}さんは

2. 課長^{かちょう}は 井上^{いのうえ}さんに おかねを あげました。

→ 井上^{いのうえ}さんは

3. 課長^{かちょう}は わたしに バッグを くださいました。

→ わたしは

4. 兄^{あに}は 弟^{おとうと}に とけいを やりました。

→ 弟^{おとうと}は

5. あなたは だれから きつぷを もらいましたか？

→ だれが

⑩ 「やり・もらい」(4)

れい : (高橋^{たかはし}さん ⇒ 加藤^{かとう}さん)

→ 高橋^{たかはし}さんは 加藤^{かとう}さんに きつぷを あげました。

1. (井上^{いのうえ}さん ⇒ 課長^{かちょう}) → 井上^{いのうえ}さんは

2. (井上^{いのうえ}さん ⇒ わたし) → 井上^{いのうえ}さんは

3. (課長^{かちょう} ⇒ わたし) → 課長^{かちょう}は

4. (山下^{やました}さん ⇒ あなた) → 山下^{やました}さんは

5. (加藤^{かとう}さん ⇐ わたし) → 加藤^{かとう}さんは

6. (高橋^{たかはし}さん ⇐ 井上^{いのうえ}さん) → 高橋^{たかはし}さんは

7. (わたし ⇐ 加藤^{かとう}さん) → わたしは

8. (山下^{やました}さん ⇐ 課長^{かちょう}) → 山下^{やました}さんは

- ⑪ 下の の 中から てきとうな 言葉を えらび、 _____ に 形を かえて 書きなさい。

さしあげる、あげる、やる、もらう
 いただく、くれる、くださる

れい：山田さんは 京都で かった おみやげを 小林さんに あげました。

1. これは わたしが 自分で 作った ケーキですが、先生に _____ たいと思います。
2. この 時計は 去年の たんじょう日に 父が _____ ものです。
3. これは 母から _____ ネクタイです。
4. 田中先生から お手紙を _____ ことがあります。
5. 毎朝 花に 水を _____ ことに しています。
6. どなたが この 写真を _____ のですか。
7. あなたは どれが いいですか。好きなのを _____ しましょう。
8. はる子さん、その きれいな 花は だれから _____ のですか。
9. 大学に 入ったら、兄が じしよを _____ そうです。
10. 林さんの お父さんから めずらしい 切手を _____ 。
11. 京子さん、もう 犬に 水を _____ か。
12. あしたは わたしの たんじょう日です。
母が なにか _____ でしょう。
13. よしおさんが 入院しているので、おみまいに 花を _____ と 思います。

⑫ 「やり・もらい」

れい：井上^{いのうえ}：この きっぷ^{きっぷ}、課長^{かちょう}にもらったよ。

加藤^{かとう}：この きっぷ^{きっぷ}は、わたしが 課長^{かちょう}に あげたのよ。

→ 課長^{かちょう}は 加藤^{かとう}さんから もらった きっぷ^{きっぷ}を、井上^{いのうえ}さんに あげまし
た。

1. わたし：井上^{いのうえ}さんが レコードを くれたよ。

加藤^{かとう}：あら その レコードは 木村^{きむら}さんが 井上^{いのうえ}さんに あげたのよ。

→ 井上^{いのうえ}さんは

2. 母^{はは}：去年^{きょねん} あなたに あげた スカーフは どうしたの。

わたし：あれは 友だち^{とも}に あげたわ。

→ わたしは

3. 課長^{かちょう}：井上^{いのうえ}君^{くん}の たんじょう日^びには この ライターを あげよう。

井上^{いのうえ}：先月^{せんげつ} 社長^{しゃちょう}から いただいた ライターですか。

→ 井上^{いのうえ}さんは

4. 井上^{いのうえ}：これは 父^{ちち}が くれた くすりです。よく ききますよ。

課長^{かちょう}：どうも ありがとう。のんで みます。

→ 井上^{いのうえ}さんは

5. 子^こども：あっ！ 水^{みず}を やらなかつた。

母^{はは}：あれは 先生^{せんせい}が くださった 花^{はな}でしょう。だめだね、ほんとうに。

→ 子^こどもは

6. 姉^{あね}：おじさんが 本^{ほん}を くれたの？

弟^{あとうと}：むかし おかあさんが 同じ 本^{ほん}を おじさんに あげた そうだよ。

→ おじさんは

13 会話の練習をしましょう。

1. A: おや、いい ネクタイですね。
どこで 買ったんですか。

B: いえ、これは もらった ものです。

A: そうですか。

B: 去年の たんじょう日に 姉が くれたんです。

1. スカーフ、母
2. ペン、先生
3. ハンカチ、弟
4. さいふ、友だちのお母さん

2. 井上: この きっぷ、よかったら あげます。

高橋: えっ、もらって いいんですか。

井上: 実は、課長から いただいたんだけど、いけなくなって しまった
んです。

高橋: どうも ありがとう。

1. 課長、高橋、井上
2. 姉、弟、友だち
3. 先生、校長先生、学生
4. 父、課長、子ども

メモ

14 ビデオテープを 聞いて の 中を 書きなさい。

加 藤：あつ。

この きっぷ、高橋さんに 、行けなく
なって しまったんです。

田 中：高橋さんが ？

あ、きょうのね。

加 藤：ええ。

、いないでしょうか。

田 中：そうね。あつ、そうだ。

課長さんに 、どう。

歌舞伎が とても 好きだ そうよ。

B : おさきに 。

A : 。

課 長：うん。

加 藤：あらー？

課長、歌舞伎には？

課 長：あー、、仕事が できて しまって……。

加 藤：そうですか。

課 長：それで、吉田さんに きっぷ 。

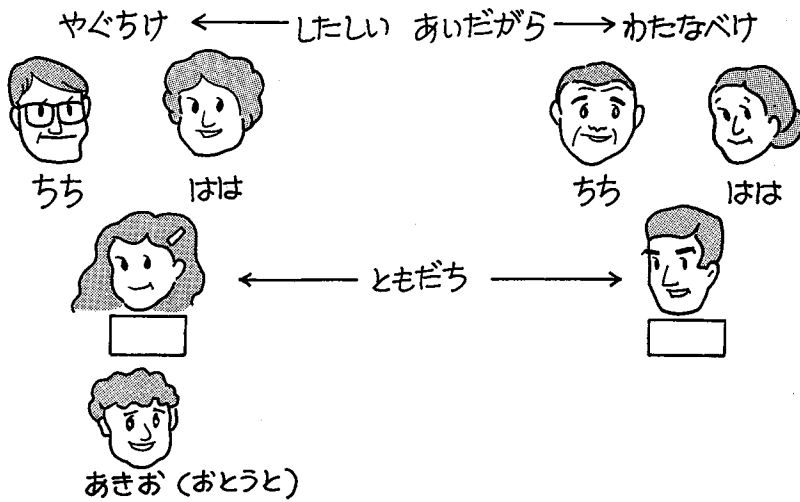
井上君は あの きっぷ どう した？

井 上：ああ、課長に きっぷは、高橋君に 。

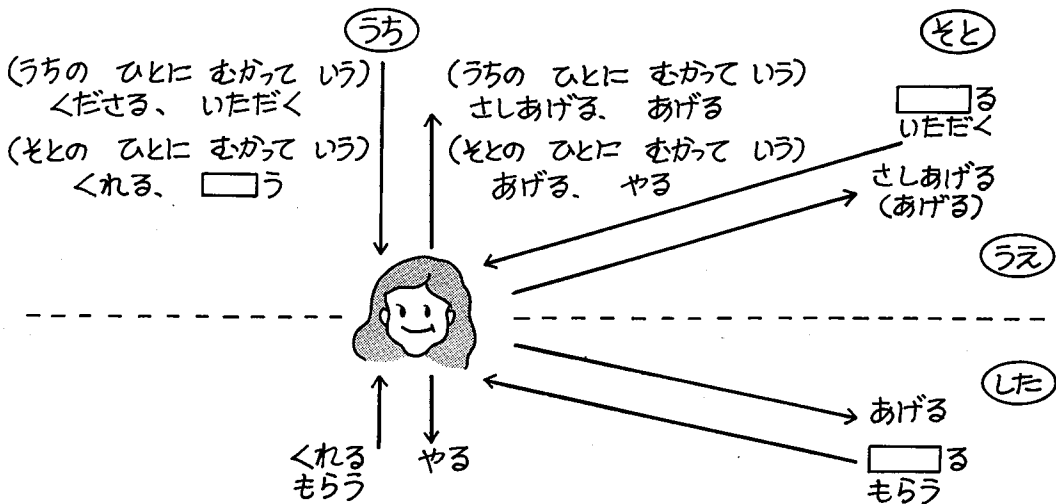


にもつを もって もらいました

[A] 27かんにでてくるひと そのかんけい

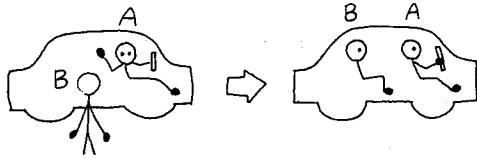


[B] 「あげる」「もらう」「くれる」のつかいかた



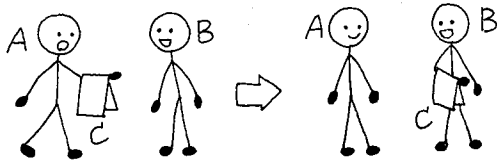
①

1. れい: おとうさんは まさおさんを くま車で おく送る。



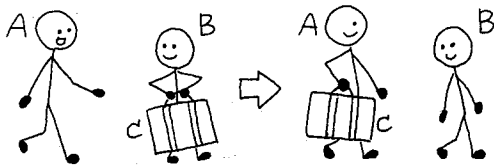
1. まさおさんは おとうさんに くま車で おく送って もらう。
2. おとうさんは まさおさんを くま車で おく送って あげる。
3. おとうさんは わたしを くま車で おく送って くれる。

2. れい: あきおくんは まさおさんに てぬぐいを も持って くる。



1. まさおさんは あきおくんに てぬぐいを も持って きて もらう。
2. あきおくんは まさおさんに てぬぐいを も持って きて あげる。
3. あきおくんは わたしに てぬぐいを も持って きて くれる。

3. れい: まさおさんは けいこさんの にもつを も持つ。



1. けいこさんは まさおさんに にもつを も持って もらう。
2. まさおさんは けいこさんの にもつを も持って あげる。
3. まさおさんは わたしの にもつを も持って くれる。

② _____ に やり・もらい表現の 適切な 言葉を 入れて、文を 完成しなさい。

A 正男が 恵子の ために 恵子の 荷物を持つ。

1. 正男「恵子さん、その にもつを 持って _____ か。」
2. 正男が 恵子の にもつを 持って _____。
3. 恵子は 正男に にもつを 持って _____。
4. 恵子「正男さんが にもつを 持って _____。」

B 恵子の 父が 正男を 車で 送る。

1. 正男は 恵子の 父に 車で 送って _____。
2. 恵子の 父は 正男を 車で 送って _____。
3. 正男「恵子さんの お父さんが 車で 送って _____。」
4. 正男(恵子の 父に 向かって)「車で 送って _____、
ありがとう ございました。」

C 正男が 恵子の うちの もちつきを 手伝う。

1. 恵子の父「正男君、あした もちつきを 手伝って _____
かい。」
2. 正男は 恵子の うちの もちつきを 手伝って _____。
3. 恵子の母「正男さんが 手伝って _____、助かったわ。」
4. 恵子の母「正男さんに 手伝って _____、助かったわ。」

D 恵子が 正男と 明夫の ために 手ぬぐいを 持って くる。

1. 恵子の父「恵子、正男君に 手ぬぐいを 持って きて _____。」
2. 恵子の父「恵子、明夫にも 手ぬぐいを 持って きて _____。」
3. わたし(恵子)は 正男さんに 手ぬぐいを 持って きて _____。
4. わたし(恵子)は 明夫に 手ぬぐいを 持って きて _____。
5. 正男「恵子さんが 手ぬぐいを 持って きて _____。」
6. 明夫「姉に 手ぬぐいを 持って きて _____。」

E 恵子の 母は 恵子に 代わって もちつきを 続ける。

1. 恵子の 母「恵子、代わって _____。」
2. 恵子「お母さん、代わって _____。」
3. 恵子さんは お母さんに 代わって _____。
4. 恵子「母に 代わって _____。」

F 正夫が 正夫の 父を 手伝って 雪がこいをする。

1. 正夫の 母「正夫、お父さんの お手伝いをして _____。」
2. 正夫の 父「正夫、そこに ある ひもを とって _____。」
3. 正夫の 父「正夫に 手伝って _____ ので、
早く 終わったよ。」
4. 正夫の 父「正夫が 手伝って _____ ので、
早く 終わったよ。」

③ ○に「は」か「に」か「を」を入れなさい。

1. 父○ 正男さん○ 手ぬぐい○ 持って くるように
恵子○ 言いました。
2. 恵子○ 正男君○ にもつ○ 持って もらいました。
3. 正男君○ うちの もちつきの 手伝い○ して くれました。
4. 父○ 正男さん○ 車で 送って あげました。
5. 正男○ 恵子さんの お父さん○ 車で 送って いただきました。
6. 恵子○ 明夫○ 手ぬぐい○ 持って きて やりました。
7. 正男○ 手伝って もらったので 助かったよと 父○ 言いました。
8. 母○ 父と わたし○ お茶○ 入れて くれました。

④ 次の 文を 言いかえなさい。

1. 恵子は 明夫 手ぬぐいを 持って きて やりました。
→ 明夫は 恵子に _____。
2. (わたしは あなたに 車で) 送って いただいて
ありがとう ございました。
→ (あなたが わたしを 車で) _____。
ありがとう ございました。
3. わたしは 父に むかえに 来て もらいます。
→ 父が わたしを _____。
4. 正男は 正男の 母に お茶を 入れて もらいます。
→ 正男の 母は 正男に _____。
5. 正男は 恵子の にもつを 持って あげました。
→ 恵子の 父「正男君、 恵子の にもつを _____。
ありがとう。」

⑤ AとBとどちらが正しいですか。正しいほうに○をつけなさい。

1. ことばの意味や使いかたがわからないときには、先生に教えて

{ A. いただきます。

{ B. くださいます。

2. わたしの時計は父が買って { A. あげた }
{ B. くれた } ものです。

3. 「駅へ行く道がわからないのですが。」

「そうですか。それではわたしがいっしょに行って

{ A. もらいましょう。}

{ B. あげましょう。}

4. 子どもたちのパーティーに出席して { A. やりたい }
{ B. もらいたい }

のですが、わたしはいそがしくて行かれないので、代わりに

出席して { A. もらいませんか。}

{ B. くださいませんか。}

5. わたしが病院に入院していたとき、かんごふさんはしんせつに

せわをして { A. あげました。}

{ B. くれました。}

6. わたしが母にあんで { A. くれた }
{ B. もらった } セーターを、かわいそうな

友だちに送って { A. もらいました。}

{ B. あげました。}

7. 子どものころ父に数学を教えて { A. もらったり }
{ B. くれたり }、

弟に英語を教えて { A. くれたり }
{ B. やったり }、しました。

8. 姉のたんじょう日にわたしはケーキを作って { A. あげました。}

{ B. くれました。}

先生はきれいな花を持って来て { A. くださいました。}

{ B. いただきました。}

⑥ ビデオテープを 聞いて [] の 中に てきとうな 言葉を
入れなさい。

恵子の父：正男君も この 列車だったのか。

正男：ええ、お久しぶりです。

恵子の父：しばらくだね。

恵子：そこで 会って、にもつを [] の。

恵子の父：それは どうも。

正男：[]、ありがとう ございました。

恵子の父：いやいや。

あした 9時に [] ね。

正男：はい。

正男：あー、あつい。

恵子の父：恵子、正男君に てぬぐいを [] なさい。

恵子：はい。

恵子の父：あつ、明夫にも [] なさい。

恵子の母：正男さんが [] ので、筋かったわ。

正男：いいえ。

恵子の母：恵子、[] わ。

恵子：そう。じゃあ。

⑦ ビデオ・テープを ^み見て、つぎの ^{こた}しつものに ^{こた}答えなさい。

A ^{まさお}正男さんは ^{だれに}だれに ^{どんなことを}どんなことを ^{して}して ^{あげましたか。}あげましたか。

1. ^{けいこ}恵子さんに
2. ^{けいこ}恵子さんの ^{うちの}うちの ^{ひと}人に
3. ^{まさお}正男さんの ^{お母}お母さんに
4. ^{まさお}正男さんの ^{お父}お父さんに

B ^{まさお}正男さんは ^{だれに}だれに ^{どんなことを}どんなことを ^{して}して ^{もらいましたか。}もらいましたか。

1. ^{けいこ}恵子さんの ^{お父}お父さんに
2. ^{まさお}正男さんの ^{お母}お母さんに
3. ^{けいこ}恵子さんに
4. ^{けいこ}恵子さんの ^{お父}お父さんに

C ^{けいこ}恵子さんの ^{お父}お父さんは ^{だれに}だれに ^{どんなことを}どんなことを ^{して}して ^{くれと}くれと ^{たのみま}たのみま ^{したか。}したか。

1. ^{まさお}正男さんに
2. ^{まさお}正男さんに
3. ^{けいこ}恵子さんに

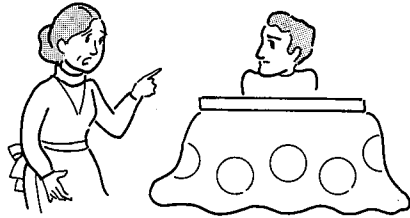
D ^{けいこ}恵子さんの ^{お父}お父さんは ^{だれに}だれに ^{どんなことを}どんなことを ^{して}して ^{あげましたか。}あげましたか。

1. ^{けいこ}恵子さんを
2. ^{けいこ}恵子さんの ^{にもつを}にもつを
3. ^{まさお}正男さんを

てつだいを させました



「まさお まさお。すぐ けい二さんの
うちへ くるまで 言って ちょうだい。」



まさおさんの おかあさんは まさおさんを
けい二さんの うちへ 〇〇しました。



「けい二は リョウリを してくれ。
あきおは げんがんの そうじを
しなさい。」



おとうさんは けい二さんに リョウリを
〇〇しました。
おとうさんは あきおくんへ げんがんの
そうじを 〇〇しました。



「げんがんの そうじ おわったよ。」
「じゃあ つぎは ふうの そうじを
してくれ。」

おとうさんは あきおくんへ ふうの
そうじを 〇〇しました。



「あきお、この ふたを あけて。」

けい二さんは あきおくんへ びんの
ふたを あけ 〇〇しました。

「えうだ、みんなぞ シャしんを
とりましよう。
「じゃあ、あきお〇〇よう。
「うん、いいよ。」



「にんじは ぼんが とりましようか。」
「じゃあ、まさおくん〇〇とって 〇〇おう。」

おとうさんは あきおくん〇
シャしんを 〇〇しました。



おとうさんは まさおさん〇
シャしんを とりて 〇〇
ました。

①

	基本の形 <small>きほん かつら</small>	使役の形 <small>しえき かつら</small>	受身の形 <small>うけみ かつら</small>	使役受身の形 <small>しえきうけみ かつら</small>
五段動詞 <small>ごだんだうし</small>	書 く お よ ぐ お 話 す 持 つ 死 ぬ 遊 ぶ 読 む と る か 買 う	書 かせ る () () () () () () () () か 買 わ せ る	書 か れ る () () () () () () () ()	書 かせ ら れ る () () () () () () () () ()
一段動詞 <small>いちだんだうし</small>	と じ る 食 べ る	と じ さ せ る ()	と じ ら れ る ()	と じ さ せ ら れ る ()
不規則動詞 <small>ふきぎよくだうし</small>	す る 来 る	さ せ る 来 さ せ る	さ れ る こ ら れ る	さ せ ら れ る こ さ せ ら れ る

② 次の 文を 例の ように 使役の 文に 言いかえなさい。

れい：先生は 学生に 「宿題を やりなさい。」と 言いました。

→ 先生は 学生に 宿題を やらせました。

1. 先生は 学生に 「本を 読みなさい。」と 言いました。

→

2. 先生は 学生に 「もう一度 言いなさい。」と 言いました。

→

3. 先生は 学生に 「作文を 書きなさい。」と 言いました。

→

4. 先生は 学生に 「テープを 聞きなさい。」と 言いました。

→

5. 先生は 学生に 「宿題を 出さなさい。」と 言いました。

→

6. 先生は 学生に 「質問に 答えなさい。」と 言いました。

→

7. 先生は 学生に 「本を とじなさい。」と 言いました。

→

8. 先生は 学生に 「書き取りを しなさい。」と 言いました。

→

9. 父は 明夫に 「写真を 写しなさい。」と 言いました。

→

10. 医者は わたしに 「薬を 飲みなさい。」と 言いました。

→

③ 例の ように 次の 文を 使役と 使役受身の 文に 言いかえなさい。

れい：わたしは 立ちました。(先生)

→ 先生は わたしを 立たせました。

→ わたしは 先生に 立たせられ (立たされ) ました。

1. 恵子は 買物に 行きました。(母)

→

→

2. みんなは 心配しました。(おばあさん)

→

→

3. 弟は 泣きました。(兄)

→

→

4. 恵子は 待ちました。(正男)

→

→

5. 子どもは うちの 中で 遊びました。(お母さん)

→

→

6. 子どもは はやく 寝ました。(お父さん)

→

→

④ _____ に () の動詞を 使役の 使役の かたちにして 入れなさい。

もうすぐ 新年が 来ます。新年を 迎えるために いろいろな ことを し
なければ なりません。家の 中を きれいに そうじしなければ ならないし
新年の ごちそうも 作らなければ なりません。たいへん いそがしいです。
父と 母は わたしたちに いろいろな ことを _____ ます。

(1. 手伝う)

たとえば 父は 兄を いっしょに 買物に _____ て、必要な

(2. 行く)

ものを _____ ます。父は 兄に 買った ものを _____ たり

(3. 買う)

(4. 持つ)

車の 運転を _____ たり します。母は わたしに 部屋を _____

(5. する)

_____ たり ガラスなどを _____ たり します。母は 姉に

(6. はく)

(7. みがく)

料理の 材料を _____ たり _____ たり _____

(8. あらう)

(9. 切る)

(10. ゆでる)

_____ たり して、料理を _____ ます。妹には 花を _____

(11. つくる)

(12.

_____ ます。新年の はじめの 日には、両親は わたしたちに 新しい ふ
かざる)

くを _____ 。

(13. 着る)

父は その日 お酒を 飲みますが、わたしたちには _____ ません。

(14. 飲む)

⑤ ビデオ・テープを 見て 次の 問いに 答えなさい。

1. 恵子の 両親は 明夫には どんな ことを させましたか。

1)

2)

3)

2. 恵子には どんな ことを させましたか。

1)

2)

3. 正男には どんな ことを して もらいましたか。

1)

2)

4. みんなは おばあさんに どんな ことを させられましたか。

1)

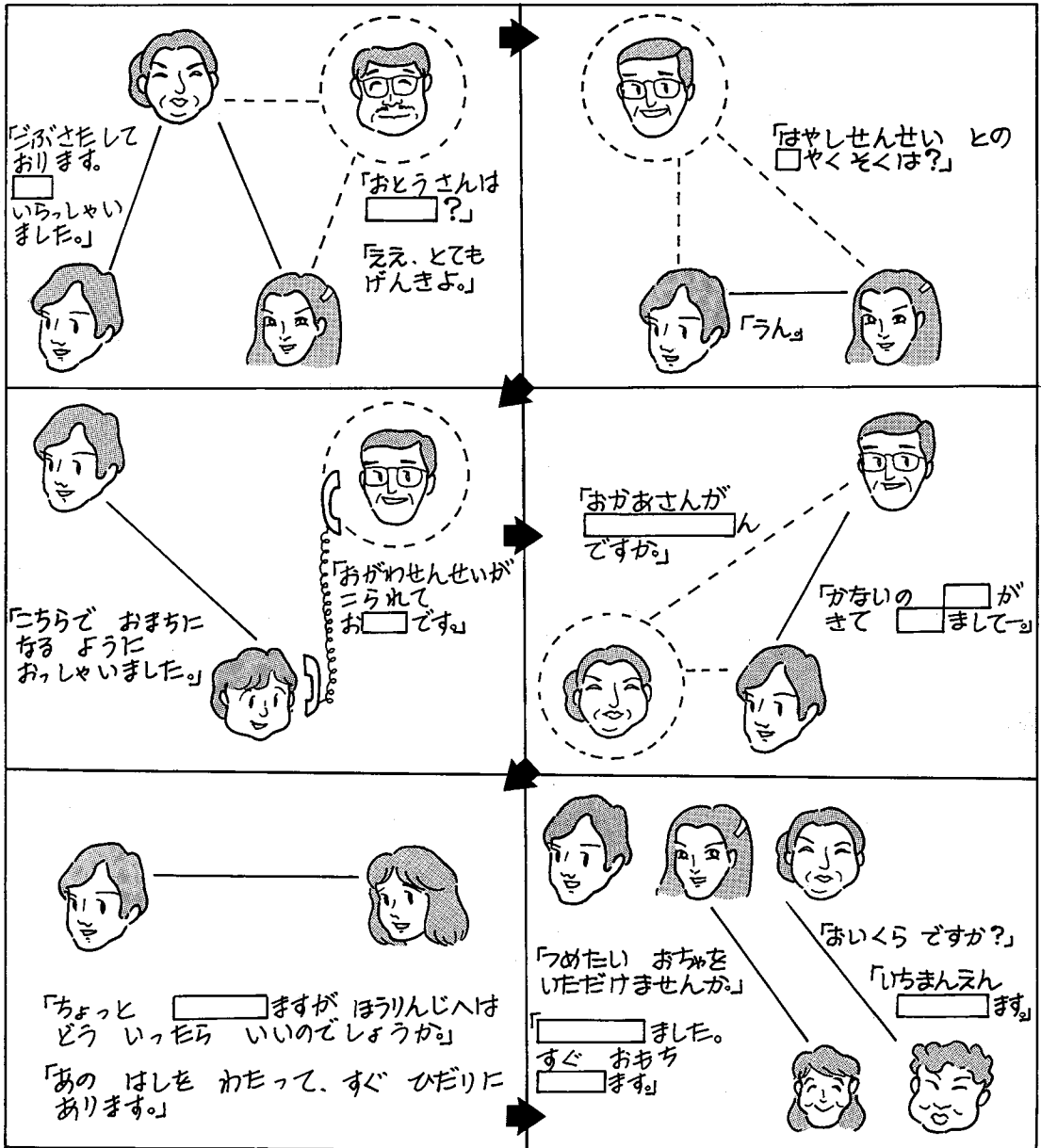
5. あなたは お父さんや お母さんに どんな ことを させられますか。

6. あなたは お父さんや お母さんに どんな ことを して もらいますか。

7. 先生は 学生に どんな ことを させますか。

8. あなたは 先生に どんな ことを して もらいますか。

よくいらっしやいました



① そんなけいの いいかた

1. 「お～になる」

林先生が かえります。→ 林先生が おかえりに なります。

2. 「～れる／られる」

小川先生が きます。→ 小川先生が こられます。

3. その他の きまった かたち

「いる」「いく」「くる」→「いらっしゃる」

「する」→「なさる」

「たべる」→「めしあがる」

② けんそんの いいかた

1. 「お～する」

かばんを もちます。→ かばんを おもちします。

2. その他の きまった かたち

「もらう」・「たべる」→「いただく」

「する」→「いたす」

※「～ている」→「～ておる」（ていねいな いいかた）

③ 相手(側)の かぞくの よびかた

父 → お父さん

祖父 → おじいさん

母 → お母さん

祖母 → おばあさん

兄 → お兄さん

おじ → おじさん

姉 → お姉さん

おば → おばさん

弟 → 弟さん

息子 → 坊っちゃん (息子さん)

妹 → 妹さん

娘 → おじょうさん

④ 「お～になる」

れい：かえります→ 林先生が おかえりに なります。

1. 書きます→
2. 読みます→
3. はなします→
4. かんがえます→
5. たずねます→

⑤ 「～れる／られる」

れい：きます→ 林先生が こられます。

ある 歩きます→ 林先生が ある 歩かれます。

1. 書きます→
2. 読みます→
3. はなします→
4. かります→
5. たずねます→

⑥ きまった いいかた

れい：します→ 林先生が なさいます。

1. います→
2. いきます→
3. きます→
4. たべます→

⑦ 「お～する」

【れい】：もちます→わたしが おもちします。

1. 書きます→
2. 読みます→
3. はなします→
4. かります→
5. たずねます→

⑧ きまった いいかた

【れい】：います→わたしが おります。

1. もらいます→
2. たべます→
3. します→

⑨ かぞくの よびかた

【れい】：「お父^{とう}さんは お元^{げん}気^きですか?」「はい、父^{ちち}は 元^{げん}気^きです。」

1. お母^{かあ}さん→「はい、
2. お兄^{にい}さん→「はい、
3. おばあさん→「はい、
4. お姉^{ねえ}さん→「はい、
5. 弟^{せいと}さん→「はい、
6. おじいさん→「はい、
7. 妹^{いもうと}さん→「はい、
8. おじさん→「はい、
9. お嬢^{じょう}さん→「はい、

⑩ 「お～になる」と「きまった いいかた」

れい：「この 論文は、だれが 書きましたか？」

→ 「林先生が お書きに になりました。」

1. 「この 車には、だれが のりますか？」

「林先生が、_____。」

2. 「あした、京都へ だれが 行きますか？」

「小川先生が、_____。」

3. 「この ケーキは、だれが たべますか？」

「山田さんの お母さんが、_____。」

4. 「あの 茶わんは、だれが 買いましたか？」

「田中さんが、_____。」

5. 「奈良の 大学には、だれが いますか？」

「木村教授が、_____。」

⑪ 「お～する」と「きまった いいかた」

れい：「だれか、この かばんを もって ください。」

→ 「わたしが おもちします。」

1. 「だれか、あの お皿を とって ください。」

「わたしが、_____。」

2. 「だれが、この 本を かえますか？」

「わたしが、_____。」

3. 「あした、だれが 会社に いますか？」

「わたしが、_____。」

4. 「だれが、この ケーキを たべましたか？」

「わたしが、_____。」

⑫ まちがいを なおしましょう。

れい：「母は とうふが お好きよ。→ 好き」

1. 「林先生は いますか。→ _____」

「林先生は、図書館へ いきました。

→ _____」

すぐ、おかえりします。→ _____」

「そうですか。じゃあ、ここで おまちに なります。

→ _____」

2. 「お父さんは、元気ですか？→ _____」

「はい、お父さんは → _____ お元気で、→ _____

毎日 会社へ いらっしやいます。→ _____」

3. 「お母さんは、どこに いますか？→ _____」

「お母さんは → _____

東京に いらっしやいます。→ _____」

4. 「先生は、夏休みに どこへ いきましたか？→ _____」

「わたしは、奈良へ いらっしやいました。→ _____」

「奈良で、何を しましたか？→ _____」

「お寺の しゃしんを、たくさん おとりしました。

→ _____」

5. 「冷たい お茶を いただけませんか？」

「はい、すぐ おもちになります。→ _____」

6. 「お母さん、何を いただきますか。→ _____」

「ゆどうふを めしあがります。→ _____」

「ゆどうふが 好きなんですか。→ _____」

「ええ、お好きですよ。→ _____」

7. 「この 茶わんを みせてください。」

「はい、どうぞみてください。→ _____」

13 会話の練習を しましょう。

1. つぎの 地図を みて、みちを きいたり、おしえたり しましょう。

A. 「ちょっと うかがいますが、～へは、

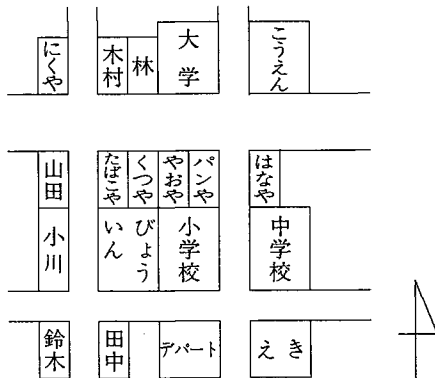
どういったら いいのでしょうか。」

B. 「～でしたら、〔右、左〕にまがって、

〔まっすぐいく、道をわたる、東・西・南・北にいく〕と、すぐ

〔右、左、前〕に あります。」

A. 「そうですか。どうも ありがとう ございました。」



2. かいものを しましょう。

A. 「すみません。」

B. 「いらっしゃいませ。」

A. 「～を みせてください。」

B. 「かしこまりました。……おまたせしました。どうぞ ごらんください。」

A. 「これは おいくらですか？」

B. 「～円です。」

A. 「これと、これを つつんで ください。」

B. 「はい。……～円いただきます。」

A. 「はい。」(おかねを わたす)

B. 「ありがとう ございました。」

3. おきやくに なって、ともだちの うちへ いきましょう。

A. 「こんにちは。(ごめんください。)」

B. 「いらっしゃいませ。」

A. 「ごぶさたしております。」

B. 「よく いらっしゃいました。おつかれじゃ ありませんか？」

A. 「いいえ。」

B. 「どうぞ こちらへ……。ごゆっくり。〔コーヒー／ケーキ〕と

〔こうちゃ／クッキー〕と、どちらを めしあがりますか？」

⇒ 何になさいますか／何がお好きですか／何にいたしましょうか

A. 「～を いただきます。」

B. 「……お待たせしました。……さあ、どうぞ。」

A. 「いただきます。(……おいしいですね。)」

B. 「〔お父さん、お母さん……〕は、お元気ですか？」

A. 「〔父、母……〕は……」

↓

B. 「〔～日に、こんどの～よう日に〕～と、～へ行くんですが、
よかったら、いっしょに いらっしゃいませんか？」

A. 「〔ええ、いかせて いただきます／その日は ちょっと……〕」

B. 「〔じゃ、～時に ～で ……／ああ、そうですか……。〕」

↓

A. 「ああ、もう こんな 時間ですね。じゃ、そろそろ しつれいします。」

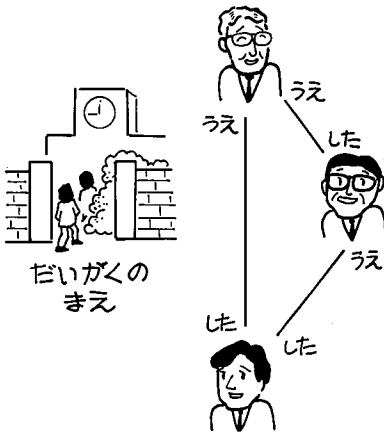
B. 「そうですか。また いらっしゃって ください。」

A. 「(ごちそうさまでした。楽しかったです。) ありがとう ございました。
さようなら。」

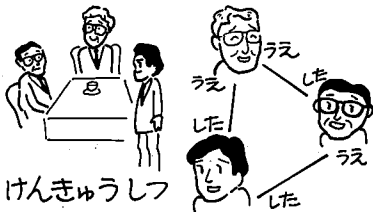
B. 「さようなら。」



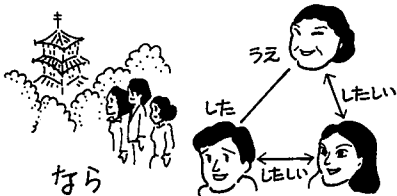
せんせいを おたずねします



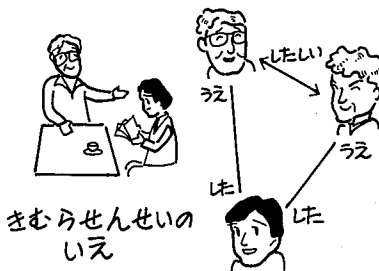
- それぞれ だれの セリふでしょうか。
- [] 「きょうの ごご、きむらせんせいが に
なりますよ。」
 - [] 「もし よろしかったら、ごしょうかい
 ませんか。」
 - [] 「いい きかいだから、しょうかいしましょう。」
 - [] 「ありがとうございます。きむらせんせいに
ごいけんを たい こと が あるんですが。」
 - [] 「そうですね。それでは 2じごろ、わたしの
けんきゅうしつに ください。」
 - [] 「はい、うかがいます。」



- [] 「きむらせんせい、ごしょうかいします。
こちらが こうしの おがわくんです。」
- [] 「おがわと ます。よろしく おねがいいたします。」
- [] 「きむらです。」



- [] 「おかあさん、つぎは どこを に なりますか。」
- [] 「おはは、どうしょうだいじを みたいと いて
いたわ。」
- [] 「存にも ませんが、どうぞ ゴチャクリ。」
- [] 「いただきます。」



- [] 「もし、よかったら、いまから そこへ いて
みませんか。」
- [] 「よろしいんですか。ぜひ、ごいっしょ
 ください。」
- [] 「ちょっと いて くるよ。」
- [] 「はい。」

① そんなけいの いいかた (きまった かたち)

れい: 「いる」「いく」「くる」→「いらっしゃる」

1. 「いく」「くる」→
2. 「たべる」→
3. 「いう」→
4. 「みる」→
5. 「する」→
6. 「くれる」→

② けんじょうの いいかた (きまった かたち)

れい: 「もらう」→「いただく」

1. 「いく」「くる」→
2. 「たべる」→
3. 「いう」→
4. 「たずねる」→
5. 「みる」→
6. 「する」→

③ そんなけいの いいかた「お～になる」、けんじょうのいいかた「お～する」

れい: もつ→ おもちになる、おもちする

1. よぶ
2. みせる
3. わたす

④ 「ご」を つけなさい。

れい: いけん→ ごいけん

1. しょうかい
2. つごう
3. けんきゅう

⑤ 次のことばを、そのけいの言いかたに 知らせい。

A 調べます → 木村先生が お調べに なります。 / 調べられます。

1. 話します → _____。
2. 作ります → _____。
3. 待ちます → _____。
4. 買います → _____。
5. 帰ります → _____。
6. よろこびます → _____。
7. 教えます → _____。
8. 休みます → _____。

B 紹介する → 木村先生が 紹介なさいます。

1. 見ます → _____。
2. 行きます → _____。
3. 言います → _____。
4. 食べます → _____。
5. 研究します → _____。
6. います → _____。
7. 来ます → _____。
8. テニスをします → _____。

⑥ 次のことばを けんじょうの 言い方に 下さい。

A 調べます → わたしが お調べします。 / いたします。

1. 持ちます → _____。
2. はこびます → _____。
3. はらいます → _____。
4. さがします → _____。
5. たのみます → _____。
6. ことわります → _____。
7. かえります → _____。
8. 開けます → _____。
9. よびます → _____。

B きく → うかがいます。

1. 本を 見ます → _____。
2. 3時に 来ます → _____。
3. 意見を ききます → _____。
4. 小川と います → _____。
5. おすしを 食べます → _____。
6. 先生の お宅へ 電話します → _____。
7. 先生の お宅へ 行きます → _____。
8. 小川くんを しょうかいします → _____。

⑦ _____ に、けいごを 入れなさい。

1. 社長：^{こんしゅう} 今週の ^{どようび} 土曜日も、^{かいしゃ} 会社へ 来ますか。

課長：^{はい} はい、^{どようび} 土曜日も _____。

2. 田中きょうじゅ：^{やまだ} 山田きょうじゅは、もう、この ^{てがみ} 手紙を ^よ 読み
ましたか。

学生：^{はい} はい、もう、_____。

3. 学生：^{すみません} すみません。この もんだいを ^{おし} 教えて ください。

すずき先生：^{わたしは} わたしは ^{じかん} 時間が ^{ない} ないので、^{たかはし} たかはし先生に
^き 聞いて ください。

学生：^{わかりました} わかりました。^{たかはし} たかはし先生に _____。

4. よしださん：^{もしもし} もしもし、^{よしだ} よしだですが、^{ごしゅじん} ごしゅじん、^{いら} いら
^{っしゃいますか} っしゃいますか。

川井さんのおくさん：^{すみません} すみません。今、_____。

よしださん：^{そうですか} そうですか。あしたは、^{いら} いらっしゃいますか。

川井さんのおくさん：^{はい} はい。あしたは、_____。

5. 先生：^{ああ} ああ、あの ^{かわらの} かわらの ^{しゃしん} 写真を ^{もう} もう ^{みた} 見たんで
すか。

学生：^{ええ} ええ。^{先生も} 先生も ^{もう} もう _____ ですね。

6. きょうじゅ： 今日は、わたしが ごちそうします。どうぞ、好きなものを
ちゅうもんして ください。

学 生： ありがとうございます。

わたしは、ステーキを _____。

きょうじゅは 何を _____。

きょうじゅ： わたしも、ステーキを 食べます。

7. きょうじゅ： ならじだいの かわらの 写真を、見ても いいですよ。

学 生： ありがとうございます。では すぐ _____。

8. 学 生： 先生は おひまなとき 何を _____。

先 生： そうですね。やきゅうを しています。あなたは？

学 生： わたしは ジョギングを _____。

9. たなかさん： おひさしぶりですね。

やまださん： ええ。しゃちょうが あなたに よろしくと _____。

たなかさん： ああ、そうですか。らいしゅう 会社へ _____ と
おつたえ ください。

10. すずきさん： 年をとったので、新聞が 読みにくくなりました。

すみませんが、読んで くださいませんか。

よしださん： ええ、いいですよ。_____。

⑧ れいのように ^か書きなさい。

れい：写真を見^みる → もしよかったら、写真を見^みさせていただけませんか。

1. 3時に帰^{かえ}る → _____。

2. まどを開^あける → _____。

3. 社長^{しゃちょう}に会^あう → _____。

4. 英語^{えいご}で話^{はな}す → _____。

5. いっしょに奈良^{なら}へ行^いく → _____。

6. きょうじゅのレポ^{レポ}ートを読^よむ → _____。

7. このレストランのおかんじょうを^はらう → _____。

8. 来週^{らいしゅう}の月曜日^{げつようび}、休^{やす}む → _____。

9. かわらについてしつもんする → _____。

10. いけんをい^いう → _____。

動詞の れんしゅう

つぎ 次の _____ に 「読む」 を 適切な 形に かえて 書きなさい。

1. わたしは 毎日 新聞を _____ ます。
2. 図書館へ 新聞を _____ に 行きました。
3. 父は 今 となりの へやで 本を _____ います。
4. つぎの 文を _____、あとの しつもん に こたえなさい。
5. もう この本は _____ しまいました。
6. あした しけんが ありますから、もう一度 この本を _____ おき
ましょう。
7. この レポートは まだ _____ ありません。
8. いつも どんな 本を _____ のですか。
9. この 本は おもしろいですよ。 あなたも _____ ませんか。
10. すみません。この 日本語の 手紙を _____ ください。
11. あなたが けさ _____ 新聞は どれですか。
12. 前に この 本を _____ ことが あります。
13. 時々、朝から ばんまで 一日中 本を _____ ことが あります。
14. この 本は、しゅくだいが おわってから _____ ことに します。
15. 日曜日は、テレビを 見たり 本を _____ りします。
16. 漢字は、五十ぐらい _____ ことができます。
17. わたしは、ひらがなは ぜんぶ _____ ますが、カタカナは _____

ません。

18. ひらがなで 書いてある本は _____ にくいです。
19. 本を _____ すぎて 目が 悪くなりました。
20. おもしろいかどうか、一度 _____ みてください。
21. 夏休みは、ゆっくり 好きな本が _____ たいです。
22. 山田さんも あの 本を _____ たがっています。
23. 夏休みは、本を 五さつぐらい _____ つもりです。
24. これから 新聞を _____ ところです。
25. 休みの 日には 英語の 小説を _____ と 思っ ています。
26. たった 今 新聞を _____ ところです。
27. その 新聞は _____ ばかりです。
28. 今から この 手紙を _____ から、ちょっと 待っ てください。
29. 何度も 何度も 本を _____ ので、文を ぜんぶ おぼえて しまっ ました。
30. あなたの 手紙を _____ 、びっくりしました。
31. 友だちの 話によると あの人は 毎週 英語の 本を 三さつも _____ そうです。
32. これは _____ も _____ なくても いいです。
33. テストの ときは、もんだいを 何度も _____ なければ なりません。
34. この 手紙は たいせつですから、今すぐ _____ ほうが いいですよ。

35. 新聞を _____ 前に、しゅくだいを して しまいなさい。
36. 日本語の 本を _____ と、いつも 頭が いたくなります。
37. この 本を _____ ば、日本の ことが よく わかります。
38. その 本を _____ だら、わたしに かけて ください。
39. コンピューターの 本を _____ なら、この 本が わかりやすくして
いいですよ。
40. この 本は むずかしくて 何度 _____ でも、わかりません。
41. さっき _____ のに、もう わすれて しまいました。
42. わたしは 母に につきを _____ ました。
43. この 小説は 世界じゅうの 人に _____ ています。
44. 林さんは 本も たくさん _____ し、運動も よくするし、ほんとう
に いい 学生です。
45. わたしは 兄に ドイツ語の 手紙を _____ もらいました。
46. 先生が わたしたちに おもしろい 新聞の 話を _____ ください
ました。
47. わたしは 妹に 絵本を _____ やりました。
48. 先生は 学生に 本を _____ ました。
49. 学生は 先生に 何度も 何度も 本を _____ ました。
50. 先生は いつも どんな 本を お _____ に なりますか。
51. 先生が 学生の とき _____ 本は どんな 本ですか。

『日本語教育映画 基礎編』 作成関係者

(指導・助言) 日本語教育映画等企画協議会委員 (所属は在任当時のもの)

池尾 スミ (米加十一大学連合日本研究センター)

石田 敏子 (国際基督教大学)

今田 滋子 (国際基督教大学)

木村 宗男 (日本語教育学会)

工藤 浩 (国立国語研究所)

窪田 富男 (東京外国語大学)

斎藤 修一 (慶應義塾大学国際センター)

佐久間 勝彦 (東京外国語大学)

杉戸 清樹 (国立国語研究所)

(企画) 国立国語研究所日本語教育センター関係者 (在任当時関係者も含む)

野元菊雄 南 不二男 川瀬生郎 日向茂男 田中 望

清田 潤 中道真木男 林 大 武田 祈 水谷 修

(制作) 日本シネセル株式会社

この『練習帳』の企画・校閲・編集は国立国語研究所日本語教育センター日本語教育指導普及部教材開発室の日向茂男、清田潤が担当した。全巻に渡っての企画・校閲には中野泰子(アジア学生文化協会留学生日本語コース)、野村美知子(アジア学生文化協会留学生日本語コース)の両氏に多大な協力を得た。また印道緑、清地恵美子、戸川さやか各氏に企画時の補助をお願いした。

このユニット6の原案執筆・検討には中野泰子、杉山太郎、伊勢田涼子、斎藤百合子、丸山敬介各氏に助力を仰いだ。

『日本語教育映画 基礎編』 練習帳

1984年 11月 15日 発行

定価 500円

企画・編集 国立国語研究所

〒115 東京都北区西が丘3-9-14 電話(03)900-3111

発行 日本シネセル株式会社

〒107 東京都港区赤坂1-9-15 電話(03)582-2691~4

発売 株式会社 ビスコ

〒115 東京都港区赤坂2-13-19 多聞堂ビル 電話(03)582-8467~9